

お買い上げいただき誠にありがとうございます。本書の記述に間違いがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正申し上げます。

(最終更新日：2018.5.21)

該当箇所	誤	正
5 ページ 右段、表 1-2	線膨張率	線膨張率 $[K^{-1}]$
12 ページ 右段、図 1-20	b	h
12 ページ 右段、図 1-20	a	b
12 ページ 右段下から 11 行目	$\int_{-b/2}^{b/2} y^2 a dy = \frac{ab^3}{12}$	$\int_{-h/2}^{h/2} y^2 b dy = \frac{bh^3}{12}$
13 ページ 表 1-3 最下段	$\frac{ad^3 + h^3(a-t)}{12}$	$\frac{ad^3 + (d-2s)^3(a-t)}{12}$
20 ページ 右段下から 11 行目	半径 r	半径 r (直径 d)
21 ページ 式(1-96)右端に追記		$= \frac{1}{32} \pi G \theta d^4$
21 ページ 右段上から 1 行目の式の右端に追記		$= \frac{32}{\pi d^4 G} T$
21 ページ 右段上から 4 行目の式の右端に追記		$= \frac{\pi}{32} d^4$
21 ページ 右段下から 4 行目	内半径が r_1 , 外半径が r_2	内半径が r_1 (内径が d_1), 外半径が r_2 (外径が d_2)
22 ページ 左段上から 5 行目の式の右端に追記		$= \frac{1}{32} \pi G \theta (d_2^4 - d_1^4)$
22 ページ 式(1-100)右端に追記		$= \frac{32}{\pi (d_2^4 - d_1^4) G} T$
22 ページ 式(1-101)右端に追記		$= \frac{\pi}{32} (d_2^4 - d_1^4)$
22 ページ 左段上から 20 行目	コイルばねの半径を R , 素線の半径を r	コイルばねの半径を R (直径を D), 素線の半径を r (直径を d)
22 ページ 式(1-106)右端に追記		$= \frac{64nR^3W}{d^4G} = \frac{8nD^3W}{d^4G}$

22 ページ 式(1-107)右端に追記		$= \frac{d^4G}{64nR^3} = \frac{d^4G}{8nD^3}$
22 ページ 右段上から 14 行目	素線の半径を r	素線の直径を d
26 ページ 左段下から 13 行目	式(1-116)	削除のうえ同ページ左段下から 9 行目に移動
26 ページ 左段下から 9 行目	$\varepsilon_{xx} - \nu \varepsilon_{yy}$	$\varepsilon_{xx} + \nu \varepsilon_{yy}$
26 ページ 左段下から 10 行目	$\varepsilon_{xx} - \nu \varepsilon_{yy}$	$\varepsilon_{yy} + \nu \varepsilon_{xx}$
26 ページ 右段上から 8 行目	式(1-118)	削除のうえ同ページ右段上から 12 行目に移動
27 ページ 左段下から 3~5 行目 (3 か所)	principle	principal
43 ページ 右段下から 5,7 行目	n_{norm}	n_{nom}
45 ページ 右段下から 6 行目	右に示す荷重—伸び線	図 1-56 に示す荷重—伸び線
104 ページ、右段上から 9 行目	・・・は単位面積あたりの仕事、すなわち・・・	・・・は単位面積あたりの力、すなわち・・・
125 ページ、右段、図 3-31 (2 か所)	工程	行程
145 ページ、左段、下から 13 行目の式の一歩右端の項目	$-\frac{1}{V} \frac{dP}{dV}$	$-V \frac{\Delta P}{\Delta V}$